

特定非営利活動法人日本火山学会

平成 27 年度定例総会議事録

1. 日 時：平成 27 年 5 月 26 日
12 時 30 分から 13 時 30 分
2. 場 所：千葉市幕張 幕張メッセ国際会議場
3. 出席者：維持会員 47 名，有効委任状数 61 通，合計 108 名
4. 議 案：
 1. 平成 27 年度事業経過報告の件
 2. 議事録署名人承認の件
5. 議事の経過の概要及び議決の結果

出席者(委任状を含む)が 108 名で, 定足数 93 名を超えていることを確認し, 議長(定款により学会の会長)が平成 27 年度日本火山学会総会の開会を宣言した.

(1) 第一号議案

平成 26 年度決算および平成 27 年度予算の件

平成 26 年度の決算報告が担当理事より報告された(資料 1). また会計監査結果についても監事から報告された(資料 2). これらについて議長が諮り, 全員異議なくこれを了承した.

平成 27 年度の予算案について担当理事から説明が行なわれ(資料 3), これに基づき議長が諮り, 全員異議なくこれを了承した.

(2) 第二号議案

理事選挙規程の改訂の件.

庶務担当理事より理事選挙規程の改訂案(資料 4)が説明され, これに基づき議長が諮り, 全員異議なくこれを了承した.

(3) 第三号議案

2015 年度火山学会賞, 火山学会奨励賞, 火山学会論文賞候補の件.

2015 年度日本火山学会各賞候補者について担当理事からの選定報告(資料 5)に基づき議長が諮り, 全員異議なくこれを了承した.

(4) 第二号議案 議事録署名人承認の件

議長より本日の議事をまとめるに当たり、議事録署名人 2 名を選出することを諮り、萬年一剛氏および藤田英輔氏を選出することを全員異議なく承認した。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成 27 年 12 月 8 日

議 長 井口正人 印

議事録署名人 萬年一剛 印

議事録署名人 藤田英輔 印

(資料1)

平成26年度決算案

平成26年度 収支計算書

特定非営利活動に係る事業会計 (単位:円)

平成26年4月1日から平成27年3月31日

科目	予算額	決算額	増減
【経常収入の部】			
会費収入	7,945,000	8,280,000	335,000
寄付金収入	0	24,000	24,000
補助金収入	1,200,000	925,700	-274,300
事業収入	3,100,000	3,408,571	382,071
その他収入	250,000	181,205	-68,795
経常収入合計	12,495,000	12,819,476	324,476
【経常支出の部】			
事業費			
火山学に関する定期大会等の開催費	2,581,000	1,665,243	-915,757
会誌機関紙研究報告書等発行費	5,750,000	3,853,344	-1,896,656
公開講座講演会等開催費	1,250,000	925,700	-324,300
火山学の普及啓発に関する事業費	6,230,000	3,403,992	-2,826,008
火山学に関する研究奨励表彰費	450,000	23,200	-426,800
助成金支出	600,000	600,000	0
期首・期末棚卸差額	0	-79,785	79,785
管理費	8,222,000	6,785,307	-1,436,693
経常支出合計	25,083,000	17,177,001	-7,905,999
経常収支差額	-12,588,000	-4,357,525	8,230,475
【その他資金収入の部】			
収益事業会計からの繰入収入	0	15,000	15,000
【その他資金支出の部】			
予備費	500,000	0	-500,000
その他資金支出合計	500,000	0	-500,000
当期収支差額	-13,088,000	-4,357,525	
前期繰越収支差額	25,196,310	25,196,310	
次期繰越収支差額	12,127,863	20,793,553	
《正味財産増減の部》			
当期正味財産増減額	-13,088,000	-4,342,525	
固定資産額	21,581,106	21,581,106	
期末棚卸高	2,803,035	2,882,820	

財 産 目 録

特定非営利活動法人日本火山学会

[税込](単位:円)

平成27年 3月31日 現在

《資産の部》	
【流動資産】	28,820,469
現金・預金	24,246,202
未収会費	701,000
棚卸資産	2,882,820
未収金	972,774
前払 費用	17,673
【固定資産】	21,581,106
その他の固定資産	6,946,810
有形固定資産 合計	14,634,296
資産の部 合計	50,401,575
《負債の部》	
【流動負債】	5,144,096
前 受 会 費	5,122,000
預 り 金	22,096
負債の部 合計	5,144,096
正味財産	45,257,479

(資料 2)

平成 26 年度会計監査報告

特定非営利活動法人日本火山学会定款第 6 章第 49 条により、平成 26 年度の事業・会計収支状況、預金・為替等の帳簿を監査した結果、適正に執行されていることを認めます。

平成 27 年 4 月 23 日

特定非営利活動法人日本火山学会 会計監事
平林順一 印

(資料 3)

平成 27 年度予算案

平成27年 予算書

平成26年4月1日から平成27年3月31日

特定非営利活動に係る事業会計 (単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	前年度決算額	予算額差異
【経常収入の部】				
会費収入	8,117,000	7,945,000	8,280,000	172,000
寄付金収入	0	0	24,000	0
補助金収入	1,200,000	1,200,000	925,700	0
事業収入	3,135,500	3,100,000	3,408,571	35,500
その他収入	203,000	250,000	181,205	-47,000
経常収入合計	12,655,500	12,495,000	12,819,476	160,500
事業費 (小計)				
火山学に関する定期大会等の開催費	3,539,000	2,581,000	1,665,243	958,000
会誌機関紙研究報告書等発行費	7,050,000	5,750,000	3,853,344	1,300,000
公開講座講演会等開催費	1,250,000	1,250,000	925,700	0
火山学の普及啓発に関する事業費	5,980,000	6,230,000	3,403,992	-250,000
火山学に関する研究奨励表彰費	480,000	450,000	23,200	30,000
助成金支出	800,000	600,000	600,000	200,000
期首・期末棚卸差額	0	0	-79,785	0
管理費	8,648,133	8,222,000	6,785,307	426,133
経常支出合計	27,747,133	25,083,000	17,177,001	2,664,133
経常収支差額	-15,091,633	-12,588,000	-4,284,025	-2,503,633
収益事業会計からの繰入収入	15,000	0	15,000	15,000
前期繰越収支差額	20,867,053	25,196,310	25,196,310	
次期繰越収支差額	5,809,973	12,127,863	20,867,053	

(資料 4)

NPO 法人 日本火山学会理事選挙規程 (改定案). 下線部について改訂を行った.

特定非営利活動法人日本火山学会理事選挙規程(2003 年 10 月 12 日臨時總會承認)(2005 年 10 月 6 日一部修正)(2014 年 5 月 2 日一部修正) (2015 年 5 月 26 日改訂)

第 1 条 本規程は理事の選出に関する規程である.

第 2 条 理事は全会員による選挙で選出され、定款第 14 条 1 項に基づき総会で選任される。

第 3 条 被選挙権を有するのは、選挙の告示時における維持会員である。選挙権を有するのは、選挙の告示時における維持会員、学会会員、一般会員であり、各会員の投票権は平等である。

第 4 条 選出する理事の数は、理事会が選挙の公示以前に定款に定める範囲内で議決する。

第 5 条

理事の選出にかかわる選挙の公示は、理事会の議決を経て会長が行う。理事選挙の公示には、選出する理事の数、選出される理事の任期、立候補届の締切日、投票の締切日、選挙管理委員長名が示される。

第 6 条 理事選挙の運営のため、臨時委員会として選挙管理委員会を設置する。

1. 選挙管理委員会は、1 名の委員長及び 2 名以上の委員からなる。選挙管理委員長及び選挙管理委員は、会員の中から選出し、理事会の承認を経て会長が任命する。選挙管理委員会の委員長及び委員の任命は、選挙の公示以前に行なう。

2. 選挙管理委員会の任期は、任命を受けた時点で開始する。選挙管理委員会は、投票結果が総会において承認され、理事が選任された後に、総会の承認により解散する。

3. 選挙管理委員会は、立候補者の募集、選挙公報の配布、投票の実施および開票集計作業を行い、投票結果を総会に報告する。

4. 選挙管理委員会の委員長及び委員は、立候補できない。

第 7 条 立候補は自薦他薦を問わない。立候補者または推薦者は、立候補者および本会会員 3 名からなる推薦者の署名あるいは押印のある立候補届出書を選挙管理委員会に提出しなければならない。

第 8 条 選挙は無記名投票とし、第 4 条で定めた数以内の連記とする。

第 9 条 開票は選挙管理委員会が行い、会長が指名した 2 名以上の立会人がこれに立ち会う。必要に応じ、開票作業には補助員を加えることができる。また、会員は希望により開票に立会うことができる。選挙管理委員長は、開票作業に従事したすべての者の氏名及び役割を、投票結果に添えて総会に報告する。

第 9 条 選挙管理委員会による投票結果の報告に基づき、総会による承認を経て選挙結果が確定する。

1. 総会に報告される投票結果は、有権者数、投票総数、有効投票数、各候補

者の得票数とする。

2. 得票が同数の場合は年少者を優先する。

3. 当選者が総会において不信任された場合、および辞退した場合には、次点者が順次繰り上がるものとする。

第 10 条 このほか、選挙の実施は別に定める選挙規定細目による。

附則

1. この規程は、2003 年 10 月 12 日より実施する。

2. この規程の変更は、理事会の議決を経て、総会で承認する。

(資料 5)

各賞選考委員会・候補者選考結果

1. 日本火山学会賞

秋田大学教育文化学部教授 林 信太郎氏

「キッチン火山実験による火山学の啓発普及活動」

東京工業大学大学院理工学研究科教授 高橋 栄一氏

「高温高圧実験に基づくマグマの起源・地球の進化と火山活動の研究」

2. 日本火山学会研究奨励賞

山形大学理学部助教 吉村俊平氏

「火山噴火現象を支配する素過程についての実験的・理論的研究」

大阪市立大学大学院理学研究科准教授 柵山徹也氏

「背弧～超背弧域火成活動の成因に関する岩石学的・地球化学的研究」

名古屋大学大学院環境学研究科助教 前田裕太氏

「火山性地震の波形解析に基づく流体移動と噴火過程の研究」

3. 日本火山学会論文賞

伊藤順一・星住英夫・川辺禎久 (2014) 最近 5000 年間の九重火山における水蒸気噴火の発生履歴, 火山, 59, 241-254.

Nakao,S., Morita,Y., Yakiwara,H., Oikawa,J., Ueda,H., Takahashi,H., Ohta,Y.,

Matsushima, T. and Iguchi, M. (2013) Volume change of the magma reservoir relating to the 2011 Kirishima Shinmoe-dake eruption—Charging, discharging and recharging process inferred from GPS measurements. *Earth Planets Space*, 65, 505-515

(資料 6) 各委員会事業報告

(1) 庶務委員会 (下司理事)

1. 入退会希望・会員数について

2015年5月26日現在の会員数は、維持会員276名、学会会員648名、一般会員71名の合計995名である。うち、団体の維持会員は2団体、一般は14団体である。

(2) 編集委員会

火山バックナンバーのPDFのカラー化公開を実施予定。

電子投稿に合わせた投稿規定・編集関係規程の改訂を検討している。

60周年記念特集号の企画を行っている。2016年3月発行の60巻4号を予定。

(3) 大会委員会

2015年連合大会関連

以下の火山学会を提案母体とするセッションが行われている。

火山の熱水系、活動的火山、火山噴火のダイナミクスと素過程、火山防災の基礎と応用、火山・火成活動、ジオパーク、津波堆積物、Multidisciplinary volcano monitoring. ただし、共：ジョイントセッション、際：国際セッション。なお、Volatiles and volcanoes (際；McIntosh) は本学会母体でない火山学セッション。

2015年秋季大会

下記の通り準備が進められている。

開催地：富山大学理学部 (富山県富山市), LOC 責任者：石崎泰男 (富山大学大学院理工学研究部)

共催・後援団体 (予定)：富山大学・富山県などを予定

予稿受付：6月29日 (月) ~7月30日 (木) (郵送~7月24日)

期日：学術講演会 9月28日（月）～9月30日（水）、普及行事（公開講座、防災シンポ）9月27日（日）

現地討論会 10月1日～2日（立山）、ジオパークセッション（9月28日午前）

備考：9月26～27日は富山大学理学部の一般公開が予定されている

2016年開催案

2016年度秋季大会開催案が理事会で認められた。

期日：学術講演会 10月13日（木）-15日（土）予定（参考：地震学会 10月5-7日、地質学会 9月10-12日）

場所：富士吉田市市民会館富士山ホール（富士急月江寺駅から徒歩圏内）

共催・後援：富士吉田市、山梨県（予定）

LOC 責任者：吉本充宏、メンバー：内山高、常松佳恵、馬場章、石橋秀巳、萬年一剛、嶋野岳人

巡検1：富士南東麓（宝永火口）12(水)、巡検2：北麓（雁の穴）16(日)、公開講座：16日（日）

2017年以降の秋季大会の開催地決定の手続き等について公募日程の概要を決定した。2017年以降について、立候補地（開催案）を広く募集することとなった。公募時期は開催の約2年前だが、大会委員会を窓口として事前に立候補する年度等の希望を聞いて調整を行う。今後5年ほど先までに開催立候補を検討されている方に相談を呼びかけることとなった。

（4）他学会担当委員会

E P S 誌の出版状況について報告があり、投稿数が増加していることが報告された。火山学会からの事業分担金については昨年同様の20万円である。

（5）国際委員会

アジアコンソーシアムの計画について報告された。本年秋（10月～11月初め）に第一回の Field Training Camp を桜島で開催予定である。

（6）学校教育委員会

秋季大会において火山防災委員会と共同で、公開シンポジウムを開催する。「御嶽山噴火 1 周年～イザ！に備えた火山学入門」。科研費から 80 万円の交付が内定している。

地震火山こどもサマースクールについて、日本地震学会・日本地質学会と共催で実施する。2015 年度は南アルプスジオパークにて、8 月 8 日～9 日に開催予定。2016 年度は「南紀熊野ジオパーク」にて開催。サマースクールのあり方については 3 学会から委員を選出して議論中。

(7) 火山防災委員会

火山防災委員会の委員の変更を行う。青山裕会員を新規に委員に加えるほか、藤田英輔会員に代わり三輪学央会員を委員に加える。

内閣府防災担当主催の火山防災協議会等連絡・連携会議に参加した。また火山シェルターのWGに参画する。

地球惑星連合では、火山防災シンポジウムを開催する。5 月 27 日夜。環境災害対応委員会のユニオンセッション (5/28) U-07 連合は環境・災害にどう向き合っていくのか？を開催。

7 月下旬に、火山防災コンピューティングワークショップを開催予定。

(8) 60 周年事業委員会

「火山」において特集号を企画中。

報告書については、1) 学術の動向・(2) 社会とのかかわり・(3) 人材育成の 3 つの柱で準備中。

関連行事の企画：

(1) キャリアパスセミナー ～いま省庁や民間企業で求められる火山専門家人材とは？ (5 月 27 日 (水) 11 時 30 分～12 時 45 分 於・幕張メッセ国際会議場 101B 号室)

(2) 京大防災研究所特定研究集会「火山学における人材育成—過去 20 年の振り返り今後 20 年を展望する—」(8 月 1 日 (土) ～2 日 (日) 於・京都大学宇治キャンパスおおばくプラザ きはだホール)